

自己点検・評価表(ISO 29990 対応版 Ver. 3.0)

実施日: 令和 3 年 6 月 30 日

学校名: 情報科学専門学校

1. 学校の教育目標

(1) 高度な技術力の修得

卒業後、社会に貢献できる実践的な技術を最新のニーズに対応して習得させる

(2) 文章作成能力の育成

高度IT社会で重要となる明快で豊かな国語力を日々の授業を通して育成する

(3) 豊かな人間性の涵養

感動ある学生生活を通じて礼儀・感謝する気持ちを備えた豊かな人間性を涵養する

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

課題	方策	成果指標
トップガン人材を育てよう	<ul style="list-style-type: none">実践 AI 科上級学年のカリキュラム制作G-Leader 特待生入学制度の開始	<ul style="list-style-type: none">実践 AI 科 2 年次以上のカリキュラムG-Leader 特待生の応募者数
指導力を高めよう	<ul style="list-style-type: none">オンライン授業の普及と質の向上LMS 等のオンライン授業ツールの導入	<ul style="list-style-type: none">オンライン授業の普及率LMS 等の共通ガイドラインの整備
地域経済に貢献しよう	<ul style="list-style-type: none">横浜市との協業による新ビジネスの発掘非 IT 業界との産学連携の開拓	<ul style="list-style-type: none">横浜市との協業実績数非 IT 業界とのアイデアソンやプレゼンテーションの実施数

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標		優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
1	1	4 ③ 2 1	入学案内パンフレット
1	2	4 ③ 2 1	職業実践専門課程様式 4 教育課程編成委員会議事録
1	3	4 3 ② 1	入学案内パンフレット 学校ホームページ
1	4	4 ③ 2 1	入学案内パンフレット
1	5	4 3 ② 1	入学案内パンフレット 学校ホームページ

① 課題

- ・学校の教育理念は開学以来、明確に示されているが、必ずしも専門分野の特性が明確になっているわけではない。また、教育理念や目的、育人人材像が教職員に十分理解され浸透するには至っていない。
- ・保護者や学生に対して教育理念や目的、育人人材像と日々の教育活動を関連付けて説明することが十分に行えているとはいえない。
- ・各学科の教育目標や育人人材像は明確にされているものの、個別の授業科目への反映が十分に行き届いているとはいえない。

② 今後の改善方策

- ・学園の教育理念や目的、育人人材像について、教職員の理解を深めるためにインナーブランディングの考え方に基づき啓蒙活動を推進する。
- ・次年度のカリキュラム改定の際に、各学科の教育目標や育人人材像に対して各科目がどのような位置づけにあるかを明確にすることとする。

③ 特記事項

2 学校運営			優良…4、適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	エビデンス(文書番号)
2	1	専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4 ③ 2 1	職業実践専門課程の様式4
2	2	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1	組織図と会議体制
2	3	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 ② 1	組織図と会議体制
2	4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1	令和2年度業務計画キックオフ資料
2	5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1	業務グループ別年度計画
2	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	4 ③ 2 1	人事・給与規定
2	7	専任教員は適正に配置されているか(専任教員や非常勤講師の適当な担当コマ数などの講義・実習負担は妥当であるか)	④ 3 2 1	令和2年度 担当割・教室割
2	8	教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4 3 ② 1	非常勤 g-mail アドレス一覧 非常勤講師出勤簿
2	9	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1	就業規則、問合せ窓口の情報
2	10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1	職業実践専門課程様式4 キャンパスブログ
2	11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1	学習支援システム inavi lsc 学習ポータル iポータル
2	12	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4 ③ 2 1	業務GL会議資料 業務GL会議議事録
2	13	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	4 ③ 2 1	学校関係者評価会議事録 担任会議議事録
2	14	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4 3 ② 1	学習支援システム inavi の「保護者向けコメント」

① 課題

- ・ステークホルダーを取り巻く環境の激変(高卒就職率の劇的低下、IT企業等でのテレワーク促進、コロナ禍による家計の急変 等)を踏まえ、当校の事業計画も、それに適応し見直しを進めているが、個別の教職員のマネジメント、保護者・学生等のコミュニケーションが追い付いていない面もある。
- ・学園メールのクラウド化、グループウェアの導入、原則全科目のLMS登録などIT化を急ピッチで進めているが、利活用する側の教職員のリテラシーが十分には追い付いていない面がある。

② 今後の改善方策

- ・マネジメントレビューでは定量的データの報告を必須化し、具体的な改善方針についてもその都度明確化する。また、マネジメントレビューの開催間隔も1回/月に定例化し、教育方針や目標の有効性・妥当性確保に努める。
- ・教職員間の連絡手段をグループウェアに統一する等により新規に導入したツールの普及を進めるほか、スケジュールの共有化など業務改善につながる機能の利活用も推奨する。

③ 特記事項

3 教育活動			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
3	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 ③ 2 1	職業実践専門課程の様式 4
3	2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか(iCD(i コンピテンシ ディクショナリ)と関連付けて到達目標を明確にできているか)	4 ③ 2 1	文科省プロジェクト成果物
3	3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 ② 1	年間学習フレーム学習ガイド
3	4	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1	教育課程編成委員会議事録
3	5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1	年間学習フレーム資格対策科目学習ガイド
3	6	講義および実習に関するシラバスは作成されているか(学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか)	4 ③ 2 1	学習ガイド
3	7	シラバス(作成されていればコマシラバス)には到達目標が記載されているか(Can-Do を意識した到達目標の明示)	4 ③ 2 1	学習ガイド 学習ガイド作成の手引き
3	8	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1	職業実践専門課程の様式 3、様式 4
3	9	シラバスあるいは講義要項(作成されていればコマシラバス)は事前に学生に配布され、授業で有効活用されているか	4 ③ 2 1	学習ガイド 授業アンケート結果
3	10	実技・実習が講義と連動するなど、効果的学習に配慮されているか	4 ③ 2 1	年間学習フレーム
3	11	カリキュラムに関し、定期的に外部者(IT 企業、情報系業界団体等)の評価や意見を取り入れているか	4 ③ 2 1	教育課程編成委員会議事録
3	12	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則(情報セキュリティ、個人情報の管理・取扱い、著作権、SNS の利用等)が整備され、公表されているか	4 ③ 2 1	個人情報保護規則 情報モラル基礎
3	13	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4 3 ② 1	職業実践専門課程の様式 4、学習ガイド
3	14	カリキュラムの作成・見直し等に関し、外部関係者からの評価や意見を取り入れているか	4 ③ 2 1	教育課程編成委員会議事録
3	15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4 ③ 2 1	共有フォルダへのアクセス権設定
3	16	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1	ホームページ(中途採用情報)

① 課題

- ・2020 年度は一気にオンライン授業への対応が進んだが、対面授業と同等以上の学生満足度や教育効果を出すことを優先したため、学科ごとのカリキュラム改訂などは最小限に止まってしまった。
- ・実践 IoT 科など、機材を使った実習が必須となる学科のカリキュラムについては、機材を学生宅に送るなど工夫したが、学科の特色を活かしたカリキュラムの実施は予定よりも縮小せざるを得なかった。
- ・定期試験もオンラインで実施するなど大きく環境が変わった。筆記試験ではカメラを常に ON させるなど様々な工夫を行ったが、成績評価については正確かつ公平な評価を行う事が難しい状況となった。

② 今後の改善方策・

- ・オンラインが当たり前になったことで企業とのミーティングは従来よりも実施しやすくなったため、企業の方から意見を大切にして現場で求められるスキルを身につけられるカリキュラムを策定する。
- ・2021 年度からはオンライン授業と対面授業を組み合わせたハイブリッド授業を中心とし、例えば知識習得型授業は「繰り返し見直せる」オンライン授業、実習授業については「友人同士で協力しやすい」対面授業、といった最適な組み合わせによって学科独自のカリキュラムも柔軟に実施する。
- ・専門学校としての成績評価の本質は試験問題が解けることではなく就職後に実際に役立つスキルを身につける事にあるため、その本質を見抜くための筆記試験に変わる試験形態を模索する。

③ 特記事項

4 学修成果			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
4	1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか(iCD のタスクと関連付けて明確にした到達目標やその目標達成のためのカリキュラムが妥当であるか)	4 3 ② 1	学習ガイド
4	2	目標とする資格試験への合格率はどうか	4 ③ 2 1	入学案内パンフレット 職業実践専門課程の様式 4
4	3	卒業生の就職率はどの程度か	4 ③ 2 1	入学案内パンフレット 職業実践専門課程の様式 4
4	4	退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1	職業実践専門課程の様式 4
4	5	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか)	4 3 ② 1	就職先アンケート 卒業生交流会実施要項
4	6	評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	4 ③ 2 1	学習ガイド
4	7	学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4 ③ 2 1	職業実践専門課程の様式 4 人事考課の手引き
4	8	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4 ③ 2 1	成績証明書 卒業証書
4	9	ニーズ調査結果に基づき目的(到達目標)を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4 ③ 2 1	令和 2 年度第 1 回経営 会議資料
4	10	学習サービス(教育・訓練)を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	4 ③ 2 1	各社教育連携協定書
4	11	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1	就職先アンケート実施レ ビュー

① 課題

- ・情報処理技術者試験対策の科目の中では、出題範囲と iCD スキルの対応付けはできている。他の科目については、講師が旧体系の IT スキル標準(ITSS)の意識のままである。
- ・卒業生の就職後の動向の把握については、就職先アンケートにて直近の数年は状況を把握できているが、その後のキャリアや具体的な活躍事例の情報を得ることが難しい。

② 今後の改善方策

- ・情報処理技術者試験対策の科目以外の講師に対し、IPA から公表されている iCD についての理解を目的とした講座を行う。学生に向けた就職指導においても、これまで IT スキル標準 (ITSS) をベースとしてキャリアパスを提示してきたが、今後は iCD をベースに置き換える。
- ・岩崎学園中長期計画において、「卒業生人材データベース」の構築を進めている。また、2020 年度はコロナ禍により就職活動を控えた学生も少数ではあるが存在し、「就職支援保証制度」を立ち上げ、卒業後も継続して求人の紹介、指導を行っていく。

③ 特記事項

5 学生支援			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1			エビデンス(文書番号)	
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	③	2	1	就職準備講座学習ガイド 組織図
5	2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1	学生生活の手引き 学内カウンセラーについて
5	3	保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1	保護者宛発送文書 保護者ガイダンス資料
5	4	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1	入学案内パンフレット (ITライセンス科)
5	5	卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1	卒業後の就職支援
5	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	③	2	1	学生生活の手引き 快適な学園生活のために
5	7	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1	学生募集要項 岩崎ともみ奨学財団募集要項
5	8	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1	健康診断実施要領
5	9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1	クラブ活動一覧 インターンシップ・コンテスト報告 会実施要領
5	10	学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1	学内カウンセラーについて 学生カルテ
5	11	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	②	1	高専連携講座契約書

① 課題

- ・コロナ禍で高校等との連携したキャリア教育・職業教育のとりくみの開催が困難であったため、活動がほぼできていない状況となった。
- ・インターンやコンテストに参加する機会が減少。オンラインでの参加など新たな形でのモチベーションの醸成や興味喚起の方法が確立されていない。

② 今後の改善方策

- ・コロナ禍の就職活動をより強固にしていくため、就職プロジェクトグループをつくり学生相談や指導など対応していく体制を整える。
- ・オンラインでも参加可能な新たな形態のインターンシップやコンテストへ興味を持たせるしくみを取り入れていく。

③ 特記事項

6 教育環境		優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・ 1	エビデンス(文書番号)
6	1	4 ③ 2 1	令和3年度担当割・教室割
6	2	4 ③ 2 1	MS、シマンテックのサイトライセンス
6	3	4 ③ 2 1	備品管理台帳
6	4	4 ③ 2 1	令和3年度担当割・教室割
6	5	4 ③ 2 1	避難訓練実施要領 防犯訓練実施要領
6	6	4 ③ 2 1	防災組織図
6	7	4 ③ 2 1	インターンシップ・コンテスト報告 会実施要領

① 課題

- ・備品は定期的に点検・更新を行っており、卒業研究等での貸し出し対応等に柔軟に対応できている。しかしながら、担当者が管理しきれない状況も起きている。

② 今後の改善方策

- ・備品の用途別に管理担当者をわけ、柔軟に貸し出しに対応できる体制を整備する。

③ 特記事項

- ・学校法人岩崎学園総務部の指導のもと、防災体制を見直している
- ・毎年、不審者・暴漢の侵入を想定した防犯訓練を警察の指導の下で実施している

7 学生の受入れ募集			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか(例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか)	4 ③ 2 1	学生募集要項
7	2	履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4 ③ 2 1	学生募集要項
7	3	学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4 ③ 2 1	学生募集要項
7	4	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4 ③ 2 1	学生募集要項
7	5	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1	入学案内パンフレット
7	6	評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4 ③ 2 1	学生生活の手引き
7	7	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4 ③ 2 1	見学者からの問合せ記録
7	8	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4 ③ 2 1	学生生活の手引き 個人情報保護規定
7	9	学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1	学生募集要項

① 課題

- ・グローバルな視点を持った人材育成の促進を図るため、入学前からその意識を持った人材を評価する G-Leader 特待生入試制度を令和 3 年度入学生から導入。導入初年度は受験者数 7 名うち 3 名が合格。年度途中に同入試制度を導入したため、募集要項などに反映できず、専用ツールのみでの告知となり、年間を通じた周知ができていない。
- ・現状、Twitter や YouTube などの SNS を通じた情報発信が乏しく、学生の普段の様子をタイムリーに伝えることができていない。

② 今後の改善方策

- ・令和 4 年度入学生用の募集要項から同入試制度を掲載。また、入学案内書には G-Leader 留学制度の詳細を掲載して学内の制度と入試方法の両面からアプローチを行い、受験者数の増加を図る。
- ・在校生で比較的利用率の高い Twitter の公式アカウント開設。また、YouTube では学生インタビューや施設紹介などの映像を積極的に活用できるよう準備をすすめる。

③ 特記事項

8 教育の内部質保証システム			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
8	1	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4 ③ 2 1	授業アンケート
8	2	専任教員による相互評価など、適切な評価体制を有し、授業評価を行っているか	4 3 ② 1	授業改善面談表
8	3	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4 ③ 2 1	備品管理台帳
8	4	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	4 ③ 2 1	職務記述書 人事考課の手引き
8	5	教職員に対する専門分野(IT 分野及び関連分野)に応じた能力開発のための研修制度ないし機会はあるか。(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	4 ③ 2 1	職業実践専門課程 の様式 4
8	6	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4 3 ② 1	教職員一覧
8	7	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1	個人情報保護規定
8	8	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 ③ 2 1	情報科学専門学校学則
8	9	文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	4 3 ② 1	文書管理規定
8	10	自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	4 ③ 2 1	自己点検評価表 内部監査報告書
8	11	監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4 ③ 2 1	内部監査報告書
8	12	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4 3 ② 1	内部監査報告書
8	13	内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	4 3 ② 1	内部監査報告書
8	14	自己点検・評価結果を公開しているか	4 ③ 2 1	自己点検評価表

① 課題

- ・ 現行の授業アンケートは設計から 12 年が経過し、一部の設問項目がオンライン授業などの実態と合っていないため見直しが必要。
- ・ 教員の指導力向上のための研修受講が主に各学年や教員の裁量に任されており、組織的な課題解決のための研修としては不十分な面がある。

② 今後の改善方策

- ・ 令和 3 年度より岩崎学園 7 校で授業アンケートの標準化を進め、その結果を定量的に評価・分析できる体制の構築を進めている。
- ・ 令和 3 年度より教員の指導力向上に関する研修は学園本部で企画・運営する体制とし、「就職指導」、「保護者連携」、「困難を抱える学生への合理的配慮」、「オンライン授業の質向上」など、いくつかのテーマから現場のニーズが大きいテーマを選び出し、カリキュラム設計から運営までを学園主導で行う体制とする。

③ 特記事項

9 財務			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
9	1	財務について会計監査が適正に行われているか	4 ③ 2 1	独立監査人の監査報告書 (令和2年度)
9	2	財務情報公開の体制整備はできているか	4 ③ 2 1	ホームページ
9	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 ③ 2 1	平成28～令和2年度決算書
9	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1	平成28～令和2年度予算書

- ① 課題
・特になし
- ② 今後の改善方策
・特になし
- ③ 特記事項
・現状財務基盤は安定しており、継続的な学校運営に問題ない状況である

10 社会貢献・地域貢献			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1	高校生セキュリティコンテスト実施要領 県高校教科研究会事例 報告会会場
10	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1	市内商店街ホームページ 作成
10	3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1	専門実践教育訓練講座 指定等通知書

- ① 課題
・コロナ禍により学外活動の実施が困難となった。
- ② 今後の改善方策
・市教委と連携し、GIGA スクール構想による小中学校への支援など地域貢献活動をすすめていく
・市内の放課後児童クラブ(学童)へのプログラミング教室の実施や支援の積極実施
- ③ 特記事項

11 国際交流(必要に応じて)			優良…4、適切…3、 やや不適切…2、不適切… 1	エビデンス(文書番号)
11	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 ③ 2 1	留学生学生募集要項
11	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 ③ 2 1	留学生学生募集要項
11	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 ③ 2 1	留学生学生募集要項
11	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 ③ 2 1	留学生学生募集要項

① 課題

- ・近年、入学を希望する留学生がおらず、留学生の在籍数は0名となっている。
- ・意欲ある学生の留学を支援する「G-Leader 留学支援プログラム」を5名が利用。2020年9月に留学を予定していたが、コロナの影響で渡航延期となり、就職年次の学生が留学を断念するケースが発生した。また、渡航延期に代わる具体的な手立てが打てていない。

② 今後の改善方策

- ・留学予定者のワクチン接種の推進し、渡航制限解除時の準備を進める。
- ・渡航制限時でも、英語に深く関われるようオンライン海外インターンシップを導入する。

③ 特記事項